



木下カンセーGROUP

あなたと考えたい、未来のこと



ごあいさつ

当社は永年この豊かな自然の恵みあふれる湖国・滋賀を中心に、主に京都や大阪、三重など近畿圏において廃棄物の処理業務に携ってまいりました。その間、処理業界における度重なる法規制の改定など様々な情勢の変化を受け、また、より適切にお客様からのご要望にお応えできるように、新たな事業や地域に特化したサービス提供を目的としてグループ各社を設立してまいりました。加えて、これまで培ってきた協力各業者との連携により、幅広い営業エリアときめ細かな対応が可能となりました。

しかし今、地球温暖化など切迫した世界規模の環境問題が表面化したことにより、これまで以上の更なる変革が求められていることを痛感している次第であります。未来を担う子供たちのため、限りある資源の有効利用と温室効果ガス削減、自然環境保護は現代を生きる我々ひとりひとりの責務です。

当社は環境問題に真正面から取り組むため、グループ中核の2社、(株)木下カンセー及び(株)石田産業で各々がISO14001環境マネジメントシステムの認証を受けました。廃棄物処理事業においては最も環境負荷の少ない処理方法を追求して可能な限り再資源化することにより、資源循環型社会構築と埋立最終処分量を減らすことによる環境破壊の防止を目指しております。常に新たな技術やリサイクル事業の模索を続け、各環境関連団体にも加盟し、その活動に協賛しております。

私どもは人と人とのつながりを大切に、常にお客様から必要とされる企業となるため、これからも未来を見据えて事業に取り組んでまいります。

株式会社 木下カンセー
代表取締役 木下 昌秀

Philosophy

環境 理念

弊社は、環境保全の重要性を深く認識し、
事業活動を通じて琵琶湖の環境保全、
地球環境の維持・向上に貢献してまいります。

Policy

環境 方針

事業活動と環境保全の両立を目指して、
新しい環境マネジメントシステムを推進しています。

- 1 事業運営において環境マネジメントシステムを構築し、運用する。
- 2 当社の事業活動における環境側面を認識し、
継続的な環境マネジメントシステムの向上と環境汚染の予防に努める。
- 3 環境に関する法令、条例および当社が受け入れた利害関係者の要求事項を遵守する。
- 4 環境パフォーマンスの向上のため、以下の項目ごとに目的、目標を設定し、
改善活動を推進するとともに、内部環境監査結果などにより見直しを行う。
 - ① 資源の有効利用の推進
 - ② 処理受託廃棄物量に対するリサイクル率の向上
 - ③ 消費エネルギーの削減
 - ④ 環境基準の順守
- 5 当社の全従業員は本方針を認識し、構築した環境マネジメントシステムを有効に活用する。
- 6 本方針は全従業員に周知させるとともに一般にも公開する。

カンセーロゴマーク

木下カンセーの木下は屋号(創業者の苗字)。
カンセーは「環境整備」の略の意と、人の持つ
「感性」の意を併せ持っています。

人、あるいは太陽と
大地を表現。

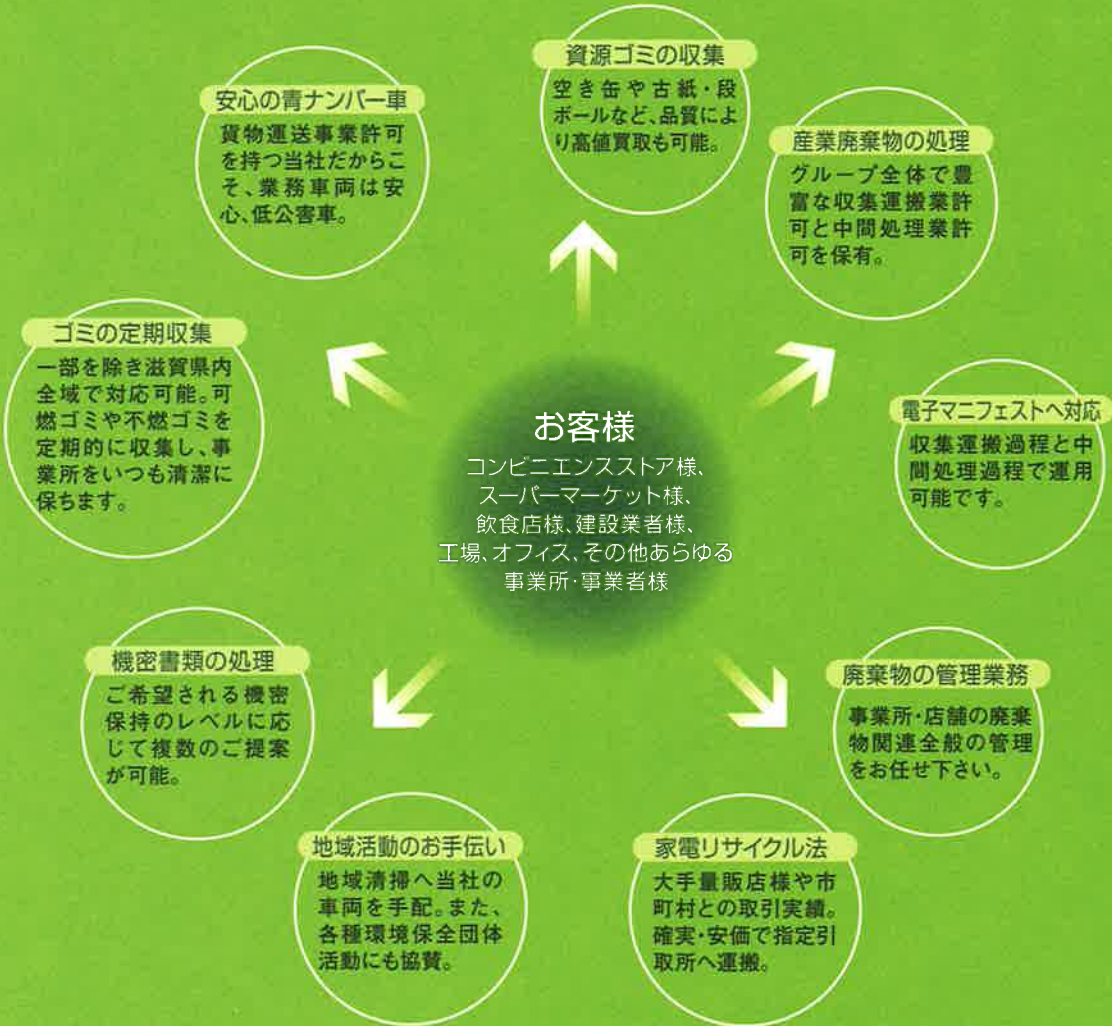


仕事に必要な人の
手の形と心を表現。



事業案内

木下カンセーグループでは幅広いサービス展開を行っております。グループ各社ならびに協力各専門業者との連携により、廃棄物の種類に応じて最適な処理方法のご提案が可能です。お客様のあらゆる声に全力でお応えいたします。



資源化フロー



木下カンセーGROUP

- プラスチック[単一の素材、樹脂製品] → 専門業者によりマテリアルリサイクル
- 金属くず [鉄、アルミ、銅、ステンレスなど] → 各種金属原料に再生利用
- 木くず [垂木、合板、生木など] → 燃料チップ化、パルプチップ化、堆肥化
- 空き缶・飲料ビン・ペットボトル → 各々原料として再利用
- 紙くず [古紙、段ボール、シュレッダーなど] → 製紙メーカーにより古紙再生利用
- 廃食用油 [てんぷら油など植物性油] → バイオディーゼル燃料や塗料原料に
- 食品残さ [魚のあら、残飯など] → 専門業者が飼料や堆肥として再利用

お客様 (事業場から廃棄物が発生)



みんなでのめよう環境化
チームマインド



沿革



会社概要

創業 昭和49年12月(平成7年8月28日会社設立)

資本金 2,500万円

代表取締役 木下 昌秀

従業員 62名

事業内容 産業廃棄物及び一般廃棄物収集運搬処理業
また、これに付随する業務

車両台数 77台
 塵芥車:4t 25台・2t 3台
 アームローラー車:10t 4台・4t 13台・2t 2台
 ユニック車:4t 3台・3t 2台 軽トラック:2台 箱車:2台
 営業車:8台 重機類:8台 フォークリフト:5台
 (平成20年8月現在)

コンテナ台数 817台
 10t 40m³コンテナ:4台 10t 30m³コンテナ:16台
 10t 25m³コンテナ:5台 4t 8m³コンテナ:400台
 2t 5m³コンテナ:12台 2t 4m³コンテナ:250台
 1t 2m³コンテナ:130台
 (平成20年8月現在)

取引銀行 京都中央信用金庫、みずほ銀行、滋賀銀行、びわこ銀行
 京都信用金庫、JAレック大津

営業所 大津営業所(お客様統轄窓口)
 〒520-2144 滋賀県大津市大萱1丁目17-20 松田ビル4F
 TEL.077-543-2663 FAX.077-543-3119
<http://www.kansei.co.jp>
 宇治本店
 〒611-0031 京都府宇治市広野町西裏100-67
 京都営業所
 〒607-8193 京都市山科区大宅沢町113
 草津リサイクルセンター
 〒525-0056 滋賀県草津市笠山2丁目259

昭和49年12月 京滋地区で廃棄物及び有価物回収業始める

56年10月 大津市大萱に大津支店開設

58年4月 大津市一般廃棄物収集運搬業許可取得

12月 滋賀県産業廃棄物収集運搬業許可取得

60年4月 京都市一般廃棄物収集運搬業許可取得

62年10月 草津市一般廃棄物収集運搬業許可取得

12月 草津市南笠町笠山に廃棄物中間処理事業用地購入

63年3月 守山市一般廃棄物収集運搬業許可取得

以降、滋賀県内各市において事業系一般廃棄物収集運搬業許可を順次取得(グループ各社含む)

4月 京都市指定、京都清掃業協同組合加入

平成元年12月 産業廃棄物中間処理施設の事前審査開始

5年12月 地元笠山町と中間処理施設の覚書を締結する

7年8月 産業廃棄物処理施設建築基準法第51条許可取得
 資本金1,000万円で株式会社設立
 京都市産業廃棄物収集運搬業許可取得
 京都府産業廃棄物収集運搬業許可取得

9月 滋賀県産業廃棄物処分業許可取得

8年6月 産業廃棄物処理施設使用前検査適合許可第10021番
 草津市条例により特定工場認定許可7-15番

7月 産業廃棄物処理施設(焼却炉、破砕機)使用開始

9年4月 彦根営業所開設

10月 リサイクル事業として3種(スチール缶、アルミ、ビン)自動分別及び自動プレス装置設置

10年4月 発泡スチロール減容機設置(処理能力10m³/h)

15年10月 一般貨物自動車運送事業許可取得

16年4月 四日市市一般廃棄物収集運搬業許可取得

以降、三重県内各市において事業系一般廃棄物収集運搬業許可を順次取得

10月 資本金2,500万円に増資

11月 大津営業所開設

19年1月 ISO14001認証取得(全社)

2月 草津リサイクルセンターでの中間処理業を停止

代表者変更

3月 大津支店を移転

20年1月 大津営業所を移転(現住所)



株式会社 石田産業

設立 昭和54年11月12日

資本金 2,000万円

代表取締役 木下 茂

従業員 30名

事業内容 産業廃棄物及び一般廃棄物収集運搬業、産業廃棄物中間処理業、ビルメンテナンス、解体業務一式

■本社
 〒522-0201 滋賀県彦根市高宮町702-4 TEL.0749-24-3386 FAX.0749-24-3348

■リサイクルセンター
 〒522-0201 滋賀県彦根市高宮町2707-3 TEL・FAX.0749-24-5576
<http://www.eco-ishida.co.jp>

グループ各社

株式会社 サニーアート
 有限会社 キンキカンサー
 有限会社 木下カンサー
 木下商会

会社概要

商号	株式会社 e - プランニング e planning Inc.
所在地	〒520 0067 滋賀県大津市藤尾奥町17-1 TEL (077) 527-0888 FAX (077) 527-0887 E-mail info@e-plann.org URL http://www.co2-ichiba.com/
代表者	代表取締役 太田 豊彦
資本金	500万円
創業 設立	平成20年6月1日 平成22年2月1日
事業目的	温室効果ガスにかかる排出権取引 排出権ビジネス (Carbon offset) 企画・組成・サポート クレジット創出支援・プランニング (J-VER 制度・国内クレジット制度) 排出権売買・仲介・コーディネート セミナー企画・運営・講師派遣 環境コンサルティング・環境ビジネス支援
所属	京都 BIWAKO 地球温暖化対策協議会 (KBC) 事務局 一般社団法人国内クレジット事業支援センター会員 大阪 CDM ネットワーク (財団法人地球環境センター) 会員 排出量取引試行協議会・国内クレジット推進協議会会員 あんしんプロバイダー制度参加事業者
保有口座	国別登録簿 / オフセット・クレジット口座 / 試行スキーム取引参加者